



2020年12月17日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーション センター

Audi Sport customer racing 2020 年、シーズン終了 再び世界中で大きな成功を収める

- 日本の Audi Sport customer racing チームも各カテゴリーで着実に結果を残す
- 4 タイプのレースカーで 34 のタイトルと 122 回の優勝を達成
- 期間短縮のシーズンにもかかわらず、高いカスタマーチーム参戦率を実現
- カスタマーチームが、3 回の 24 時間レースで素晴らしい成果を達成

(ドイツ本国発表資料) 2020年12月14日、ノイブルク アンデア ドナウ : Audi Sport customer racing は、数多くの素晴らしい成績を収めて、期間が大幅に短縮された 2020 年シーズンを終了しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、全世界のレース数は約 37%減少しましたが、Audi Sport customer racing の各モデルは、前年と同様に各カテゴリーで成功を収めました。また、日本の Audi Sport customer racing チームも、各カテゴリーで着実に結果を残すことができました。

Audi Sport customer racing 統括責任者のクリス ラインケは、次のように述べています。「世界中で成功を収めたカスタマーチームの皆様の健闘を称え、御礼を申し上げます。2020 年シーズンは、これまでにない困難に直面しました。エネルギーに満ちた私たちのチームは、ロックダウンが解除され、大幅に遅れてスタートしたシーズンにおいて、Audi Sport customer racing の歴史に残る驚くべき結果を、再び達成しました」世界中で開催された 478 のレースで、Audi Sport カスタマーチームから 1,285 台のレースカーが参戦し、122 回の勝利を含む 361 回の表彰台を獲得しました。チャンピオンシップにおいては、12 のドライバーズタイトルと 22 のクラス優勝を果たしました。

GT3 クラス :

Audi R8 LMS が 151 のレースに参戦し、48 回の優勝を含む合計 139 回の表彰台を獲得しました。これは、アウディブランドが、国際的なレースシリーズにおいて、ほぼ 3 レースに 1 回優勝したことを意味します。表彰台獲得率は約 92%で、ほぼすべてのレースで少なくとも 1 回の表彰台を獲得したことになります。その中には、アウディ ジャパンとパートナーシップ契約を締結している Audi Team Hitotsuyama の Audi R8 LMS #21 川端 伸太郎選手、近藤 翼選手による、2020 SUPER GT 第 6 戦「SUZUKA GT 300km RACE」優勝も含まれます。

2020 年シーズンには、有名な GT World Challenge Europe Sprint Cup におけるベルギーの Audi Club Team WRT (ドリス バンスール/チャールズ ウェーツ組) を含めて、7 人のドライバーがタイトルを獲得しました。さらに、他の 8 つのチャンピオンシップ争いの中から、Audi R8 LMS は勝利への方程式となっています。

GT4 クラス :

Audi R8 LMS GT4 は、昨年と比較して、さらなる成功を収めました。勝率は、18.5%から 22%に高まりました。約 30 台のマシンが参加した GT4 France での成功は、特に注目に値します。フランス国内でし烈な戦いが繰り広げられているこの GT4 レーシングシリーズでは、最大 7 台の Audi R8 LMS GT4 がプライベートチームから参戦しました。長年のパートナーである Saintéloc Racing は、グレゴリー ギルバート/ファビアン ミッシェルのコンビで、3 年連続で Pro-Am クラスを制しました。

FFSA GT チャンピオンシップにおける 24 年の歴史の中で、2 名のドライバーコンビが連続でタイトルを獲得したのは初めてのことです。

TCR クラス：

4 年目のシーズンを迎えた TCR ツーリングカーでも、Audi Sport customer racing プログラムは、数々の成功を収めました。Audi RS 3 LMS は今回初めて、世界レベル、ヨーロッパレベル、ドイツ、ニュージーランドでタイトルを獲得しました。

最も注目を集めている TCR レーシングシリーズである FIA WTCR では、ジレス マグナス擁する Comtoy Racing がルーキークラスでタイトルを手中に収めました。ベルギーを拠点とする Comtoy Racing は、TCR Europe でも、メディー ベナーニがドライバーズタイトルとチームタイトルを獲得し、ニコラス バートがルーキカテゴリーを制しました。

ニュルブルクリンク耐久シリーズでは、ヘルマン ボック擁するカスタマーチームの Bonk Motorsport が SP3T クラスで初優勝を遂げ、ニュージーランドで開催された耐久レースでは、Track Tec Racing が 2 つのクラスで勝利しました。

日本では、昨年の耐久レースにおけるタイトルに続き、2 つのスプリントレースで、アウディカスタマーチームが初タイトルを獲得しました。TCR ジャパンは、土曜日 (Saturday Series) と日曜日 (Sunday Series) にチャンピオンシップを分けてレースが開催されました。Audi Team Hitotsuyama の Audi RS 3 LMS #21 篠原 拓朗選手は、Saturday Series において最終戦を待つことなく、早々とタイトルを確定させました。なお、篠原 選手は Sunday Series でも、12 月 20 日に開催の最終戦前の段階で最上位にいます。

TCR Benelux では、カナダのザッカリー バーニエーとニコラス バートがドライバーズタイトルを獲得しています。昨年同様、エントリーレベルのツーリングカーにおいても、Audi Sport customer racing のレースカーは、すべてのレースでライバルをリードしています。219 回開催されたレースに、Audi Sport のカスタマーチームから 529 台のレースカーが参戦し、49 回の優勝を含めて 159 回の表彰台を獲得しました。

24 時間レース：

クリス ラインケは、次のように述べています。「私たちは、3 つの 24 時間レースで素晴らしい成果を収めたカスタマーチームを誇りに思っています」ドバイ 24 時間レースの TCR クラスでは、トム ボーネン/ギルス マグナス/ステファン ペリン/ヴィンセント ラダーメッカ/マシュー タスキネン組が勝利を収めています。彼らは、AC Motorsport から Audi RS 3 LMS で参戦しました。この勝利は、アウディにとって 2017 年に続く 2 回目の優勝となりました。

富士 24 時間レースでは、Audi RS 3 LMS で参戦したカスタマーチームが、TCR クラスにおいて 3 年連続で優勝しました。スーパー耐久シリーズの初戦となった「富士 SUPER TEC 24 時間レース」の ST-TCR クラスで、WAIMARAMA KIZUNA RACING の Audi RS 3 LMS #22 のキズナ、千代 勝正、安田 裕信、大草 りき、山野 直也、吉田 寿博の各選手が見事な優勝を果たしました。

ニュルブルクリンク 24 時間レースでは、WS Racing チームの Giti Tire Motorsport が、SP8 クラスでトップチェッカーを受けました。このレースでは、Audi R8 LMS GT4 のステアリングを握ったクリスチャン ジェスペン/カリペッカ ラクソネン/ヤン ソーレンセン/ローランド ワシュカウ組が優勝しました。

アウディブランド ワンメイクレース：

ワンメイクレースでも、カスタマーチームは素晴らしい健闘を見せています。オーストラリアのダニエル ビルスキーは、アジア地域で FIA ブロンズの評価を受けたドライバーを対象に開催された新しい Audi Sport Asia Trophy に出場した 41 人のドライバーの中で、最高の成績を収めました。ヨーロッパ地域で開催された Audi Sport Seyffarth R8 LMS Cup の第 3 シーズンでは、ティム ライターが、他の 23 人のドライバーを抑えて初タイトルを獲得しました。

>> [2020 シーズン結果](#)